

各関係機関の長 様

滋賀県病害虫防除所長  
(公印省略)

病害虫発生予察情報(特殊報第2号)の送付について  
このことについて下記のとおり発表したの送付します。

---

平成18年度 病害虫発生予察特殊報 第2号

平成18年(2006年)10月2日  
滋 賀 県

1. 病害虫名：タバココナジラミ バイオタイプQ *Bemisia tabaci* Q-biotype
2. 作物名 トマト(ナス科)
3. 発生経過
  - (1) 平成18年9月、ピリプロキシフォン剤(ラノーテープ等)に対する感受性が低下したタバココナジラミが持ち込まれた。本虫を独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 野菜茶業研究所にPCR法による遺伝子診断を依頼した結果、本県では未確認のタバココナジラミ バイオタイプQであることが確認された。
  - (2) 本虫は、平成17年2月に国内(宮崎県)で初めて確認され、その後平成18年10月2日現在、28都府県で発生が確認されている。近隣では、京都府、大阪府、和歌山県、岐阜県、三重県などで発生が確認されている。
4. 形態

成虫は体長0.8mm、体は淡黄色、翅は白色である。蛹(4齢幼虫)は、体長0.7~1.0mm、淡黄色~黄色である。成虫、幼虫ともに、バイオタイプB(シルバーリーフコナジラミ)との形態上の差異は確認されていない。

バイオタイプとは、形態的な差異は小さいが、遺伝子型、寄主植物への影響等が異なる系統のことである。
5. 生態

バイオタイプQは、1996年にスペインで初めて確認され、現在、イタリア、イスラエル、中国、アメリカ等で発生が確認されているが、生態に関しては不明な点が多い。

これまでにタバココナジラミには、41のバイオタイプが確認されている。
6. 被害の特徴

オンシツコナジラミやシルバーリーフコナジラミと同様に、吸汁加害による生育阻害を引き起こすとともに、排泄物によってすす病(症状)が発生する。また、TYLCV(トマト黄化葉巻病ウイルス)を媒介する。しかし、本県においてトマト黄化葉巻病の発生は現在のところ確認されていない。
7. 寄主作物

ナス科：トマト、ミニトマト、ナス、ピーマン、トウガラシ、シシトウ、パプリカ	
ウリ科：キュウリ、メロン	アブラナ科：茎ブロッコリー
ユリ科：アスパラガス	ヒルガオ科：サツマイモ
シソ科：シソ、セージ	キク科：キク、ガーベラ
トウダイグサ科：ポインセチア	アカネ科：ブーバルディア

## 8. 防除対策

- (1) 施設栽培では、天窓やハウスサイドなどの開口部に目合い0.4mm以下の防虫ネットを張り、成虫の侵入を防ぐ。また、UVカットフィルム、光反射フィルム、黄色粘着板など物理的防除法を利用する。
- (2) コナジラミ類の寄生が疑われる苗は使用しない。
- (3) ほ場周辺の雑草は増殖源となるので、除草を徹底する。
- (4) 施設栽培では、栽培終了時に全ての株を地際から切断した状態で約1ヶ月密閉し、ハウス内に発生したコナジラミ類を餓死させて死滅させる。
- (5) タバココナジラミバイオタイプQは、ネオニコチノイド系薬剤の一部や合成ピレスロイド系薬剤、ピリプロキシフェン剤（ラノーテープ等）に対して感受性が低下する事例が報告されている。これらの薬剤の効果が低下している場合は、薬剤を変更する。



写真 左:タバココナジラミ バイオタイプQ(成虫),右:同幼虫

## 滋賀県病害虫情報NET

### インターネットで見る病害虫情報

病害虫発生状況・今後の予報と解説などが

いつでもインターネットでご覧になれます

<http://www.pref.shiga.jp/g/byogai chu/>

滋賀県病害虫防除所

〒521-1301

滋賀県蒲生郡安土町大中516

TEL 0748-46-6160

0748-46-4926

FAX 0748-46-5559